

本校教員が大学・高専等のシーズ発表会で発表

平成28年9月8日（木）にホテルシティプラザ北上（北上市）で開催された大学・高専等のシーズ発表会において、本校教員（副地域共同テクノセンター長兼地域連携部門長 機械工学科 八戸 俊貴）が発表しました。

発表題目は「製造現場における再生可能エネルギーの利用について」であり、廃熱利用、冷熱利用、工場排水を利用した小水力発電、大地熱利用、従来とは異なる二重窓ガラスそれぞれについて説明および紹介を行うとともに本校教員との研究内容の関連から産学連携の可能性について言及しました。

標記の発表会は岩手県商工労働観光部ものづくり自動車産業振興室が主催となり、産学連携の一層の活性化を目標に昨年度から実施されています。これまでも本校からは2名の教員（電気情報工学科 藤田 実樹、機械工学科 原 圭祐）が発表しています。

当日は地域共同テクノセンター長（電気情報工学科 郷 富夫 教員）も参加し、県内の大学や企業、自治体（奥州市、北上市、岩手県）関係者も含め合計40名の参加がありました。

発表後の質疑応答の際には企業側からの質問もあり、発表会後の交流会でも複数の企業技術者から声をかけられるなどあらためて企業におけるエネルギー問題への関心の高さを実感しました。